

平成30年度第7回定例  
松本市教育委員会会議録

松本市教育委員会

平成30年度第7回定例松本市教育委員会会議録

平成30年度第7回定例松本市教育委員会が平成30年10月24日午後3時00分城東公民館に招集された。

---

平成30年10月24日（木）

---

議 事 日 程

平成30年10月24日午後3時00分開議

第1 開 会

第2 教育長挨拶

第3 議 事

[議案]

第1号 まつもと文化遺産認定制度実施要綱の制定について

第2号 松本市博物館協議会委員の委嘱について

[報告]

第1号 第7回学都松本フォーラムの開催結果について

第2号 コズミックカレッジ（JAXA協力の科学教室）の実施結果について

第3号 子育て家庭実態調査の実施結果について

[周知事項]

- 1 教育文化センタープラネタリウムのリニューアル工事に伴う休館について
- 2 宇宙関連事業 講演会の開催について
- 3 松本市立博物館分館の企画展開催について
- 4 歴史の里ナイトミュージアムの開催について
- 5 第35回松本市青少年健全育成市民大会・「松本子どもの権利の日」市民フォーラムの開催について

[その他]

〔出席委員〕

|          |         |
|----------|---------|
| 教 育 長    | 赤 羽 郁 夫 |
| 教育長職務代理者 | 市 川 莊 一 |
| 教 育 委 員  | 花 村 潔   |
| 〃        | 福 島 智 子 |
| 〃        | 山 田 幸 江 |

〔出席職員〕

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 教 育 部 長     | 矢久保 学            |
| こども福祉課長     | 高 山 秀 一（こども部長代理） |
| 教育政策課長      | 小 林 伸 一          |
| 教育文化センター所長  | 中 村 誠            |
| 学 校 教 育 課 長 | 麻 田 仁 郎          |
| 学 校 指 導 課 長 | 横 田 則 雄          |
| 学 校 給 食 課 長 | 清 澤 秀 幸          |
| 生涯学習課長 兼    |                  |
| 中央公民館長      | 栗 田 正 和          |
| 中 央 図 書 館 長 | 瀧 澤 裕 子          |
| 文 化 財 課 長   | 大 竹 永 明          |
| 松本城管理事務所長   | 手 島 学            |
| 美 術 館 副 館 長 | 小 口 一 夫          |
| 博 物 館 長     | 木 下 守            |
| 基幹博物館建設担当課長 | 中 原 和 彦          |

〔事務局〕

|          |       |
|----------|-------|
| 教育政策課    |       |
| 教育政策担当係長 | 金 井 稔 |
| 教育政策課    |       |
| 教育政策担当係長 | 堀 敬 子 |

《開会宣言》 午後3時00分

赤羽教育長は平成30年度第7回定例松本市教育委員会の開会を宣言した。

教育長 これより第7回定例教育委員会を始めます。

今日は、移動教育委員会として、城東公民館での開催となります。19時から「地区の皆さんと語る会」も予定されております。城東公民館の館長さんを初め公民館の皆さんには大変お世話になりますが、よろしく願いいたします。

さて、今朝の新聞に「お城の桜並木 寂しい秋」というような題でお城の周辺の桜の木が夏の猛暑のために早くも葉を落としてしまい、紅葉が見られないとの記事が載っていました。確かに今年の猛暑は大変でした。植物は自然環境の変化に合わせ、生き残り戦略を立て、生命の維持と種の保存を最優先に生きていることを考えさせられました。

私の家でも、イチイの垣根を数年前に思い切って切り詰めましたが、枝が少なくなったため、自分自身で適応してバランスを取っている姿に、健気ささえ感じています。

ところが人間はどうでしょうか。つい最近までは、自然環境に合わせた暮らしぶりや知恵を駆使して、自然と共に生きてきましたが、最近では、人間の暮らしに合わせて環境を変えていく仕組みに変わってしまいました。

便利さと快適さ、どこまで追い詰めても、果てがないと思うのは私だけでしょうか。さて、今年の冬はどんな冬になるのでしょうか。

今年も早いものであと2カ月余となりましたが、教育委員会内での行事等も沢山あります。ぜひ健康に留意して今年の締めくくりに向けてみんなで力を合わせて頑張っていきたいと思いますので、よろしくお願い致します。

今日は、伊佐治こども部長は欠席ですので高山こども福祉課長に出席をいただいています。また、守屋地域づくり部長も所用のため欠席です。

それでは、山田委員3分間スピーチよろしくお願い致します。

山田委員 「断捨離から出てきた古い新聞記事について」3分間スピーチ  
教育長 ありがとうございます。

次回は、瀧澤中央図書館長ですのでよろしくお願い致します。

《署名員の指名》

教育長 本日の会議録署名委員は、山田委員、市川委員です。

《議案審議》

教育長 本日の案件は、議案が2件、報告が3件、周知事項が5件です。

<議案第1号> まつもと文化遺産認定制度実施要綱の制定について

文化財課長 議案第1号「まつもと文化遺産認定制度実施要綱の制定について」趣旨、経緯、「まつもと文化遺産」について、要綱（案）その他を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員、どうぞ。

花村委員 具体的にどのように進めていくのか教えてくださいませんか。

文化財課長 多くの申請を受け、認定していくということはおそらく無理だと思います。

団体から申請の相談があった場合は、「こういう風に支援していきます」

「こういう風にやってみましょう」というような形で事前に協議をし、その上でサポートをしていかなければいけないと思っています。

今年度中に出来れば2つ、3つぐらいの団体の申請を受け、来年度から活用事業に移行できればと考えています。

教育長 申請それから計画段階から少しずつ関わりを持ちながら、新年度は2つから3つぐらいの団体からスタートできたらということですね。

文化財課長 はい。最初でうまく軌道に乗れば、いいモデルケースになると思いますので、その方向で考えております。

教育長 他にご意見等ありますでしょうか。

よろしいでしょうか。

それでは、議案第1号については、承認することとします。

<議案第2号> 松本市博物館協議会委員の委嘱について

博物館長 議案第2号「松本市博物館協議会委員の委嘱について」趣旨、選考方法、委嘱予定者、任期、根拠条例を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

特にご発言がないようですので、議案第2号については承認することとします。

<報告第1号> 第7回学都松本フォーラムの開催結果について

教育政策課長 報告第1号「第7回学都松本フォーラムの開催結果について」趣旨、開催内容、参加人数・アンケート集計及び各委員からの意見など、今後について説明  
教育長 ご意見、ご質問等ございますか。

市川委員 駐車場の問題です。来年もMウイングで開催となった場合、無料とまでは行かなくても、何かいい方法はないでしょうか。アンケート結果を見ると、90%以上の方が満足してくれている状況ですので、考えなくてもいいのかとも思いますが、駐車料金がかかるのかかからないのでは子どもたちを連れてくる親のスタンスも変わると思うのです。

それから、Mウイングで今回初めてやってみましたが、思ったより周りやすかったように思います。

教育長 あがたの森で開催したときは蚕糸公園とあがたの森の駐車場を使用しておりました。

市川委員 蚕糸公園は良かったですね。

教育長 そうですね。来年あがたの森で開催するのであれば工夫して講堂を使用せずにテントで可能かどうかというようなことも考えられるのではないのでしょうか。

そして、今年の状況から駐車場が有料になってしまうということが非常にネックだったことがはっきりしましたので、1つの検討材料にはなるかと思いません。

ただ、会場が変わったことでマンネリ化せずに新たな取り組みをしていただいたことは非常に価値のあることだと思います。また、会場を変えたことで、あがたの森に戻った時にさらに内容が進化していくような取り組みをしていかないと、参加者からはマンネリ化と受け止められてしまいます。参加者の人数よりもマンネリ化に気を付けていくことが私は大事だと思っています。例えば5人でも10人でもその講座へ来て本当に夢中になって「いやあ、おもしろかった」と言ってくれば、100人来て流れて100人行くよりも余程価値があるのかなと思っています。

他にご意見等ございますか。

はい、福島委員、どうぞ。

福島委員 35ページから協議会委員、事務局会議委員からの感想というものがまとめられています。私も2年前に協議会の委員となり参加させてもらい、その際に感じたのがやはり学都フォーラムの運営側のことでした。仕事量がある人に集中してしまっていてということがあり、例えば35ページの真ん中辺りに「教育政策課の担当職員の負担が大きすぎる、その人に聞かないとわからないことが多いように思います。」とありますが、私も次に何をやればいいのか等分かっておらず、すごく効率が悪いと思っていました。その時も反省会があり「もう少し情報の共有や負担の配分について考えた方がいいという意見が出たと思いますが、結局2年たっても同じような意見が出されていますので、あまり変わらないと感じました。

それから、「学都フォーラム」については教育政策課が担当課になると思いますが、このように出てくる意見はとても貴重ですので、特に批判的なものに関しては、よく吟味して、その次に繋げていかないと意味がないと思います。

せっかくこれだけ意見を出していただいたのですから、2年前と変わらないのであれば、今後見直しをして運営していただけたらいいと思いました。

教育長 組織づくりみたいなことを含めてということですよ。

教育政策課長 担当者の負担が大きかったというご意見は、協議会の中でも反省として出ていますので、班長を決めて部門ごとに責任を持たせてやってもらう等、次回に向けて取り組みたいと思っていますので、よろしくお願いします。

教育長 何か行事を開催する場合、関わっている人たちが「私は何をやればいいんですか」というスタンスだとどうもいけないということですよ。その場へ行っただけで「私は何をやればいいんですか」ではなくて、「あなたがそこをやっていただくんですよ。」という当事者意識をどう作っていくかということが大きなイベントをする時には必ず問題になることだと思います。その辺をどう作っていくかということが次回の大きな課題だと思います。

他にご意見等ありますか。

はい。山田委員、どうぞ。

山田委員 今の組織のことですが、この学都フォーラムに関わる人数や、どういう方が  
どういう形で関わっているのか教えていただけますか。

教育政策課長 学都推進協議会が組織されており、現在16名がメンバーになっております。  
また、教育委員会の各課とこども育成課、健康づくり課の職員15名が事務局  
となっています。

山田委員 分かりました。その方々は、いつ頃決まるのでしょうか。

教育政策課長 4月には決まります。

山田委員 ありがとうございます。

教育長 他にご意見はありますか。

では、本日出された意見も含めて協議会でも意見が出ていますので、次年度  
の開催場所も含めて検討するようお願いします。

では、報告第1号については、報告を受けたこととします。

<報告第2号> コズミックカレッジ（JAXA協力の科学教室）の実施結果について

教育文化センター長 報告第2号「コズミックカレッジ（JAXA協力の科学教室）の実施  
結果について」趣旨、実施概要、成果を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

福島委員 私は、抽選に当たり参加出来ました。

教育長 良かったですね。福島委員、参加しての感想を一言お願いします。

福島委員 講師の方がすごく力があるなということを感じました。小さい子から大きい  
子まで年齢層が幅広かったのですが、その子どもたちをうまくまとめていて、  
「流石だな」と思いました。

また、子どもは楽しく参加していて、こういった企画は沢山やっていただけ  
るとありがたいと思いました。

教育長 講師の方はおそらく全国でこのような教室をやっているため、慣れているの  
でしょうね。

新聞記事に鎌田小学校の1年生の子が「宇宙の話はまだよく分からないけれ  
ど面白そうだった。」という感想が載っていますが、よく分かって参加する  
ということよりも何となく面白そうという感覚が私はいいと思いました。こうい  
う子どもたちがいっぱい集まって来るとのこと、とても大事なことだと思



ます。

市川委員 40名のところに53名の応募があったということですが、13名くらい参加させてあげることが出来なかったのですかね。

教育文化センター所長 講師の先生に確認しましたが、子どもが対象ですので保護者の付き添いもあり、会場の大きさも関係するため40名が適当であろうとのことでした。

教育長 はい、山田委員。

山田委員 これだけ人気があるのでしたら予算のこともありますが、2回、あるいは複数回開催することは難しいのでしょうか。

教育文化センター所長 この教室は、今年初めて企画したものです。来年は、教育文化センター職員が講師となり開催が可能となりますので、検討してまいります。

教育長 他にご意見等ございますか。

無いようですので、報告第2号については、報告を受けたこととします。

<報告第3号> 子育て家庭実態調査の実施結果について

こども福祉課長 「子育て家庭実態調査の実施結果について」趣旨、市調査不概要、市調査分析、市調査結果、県調査概要、県調査分析、県調査結果、今後の予定を説明

教育長 ご質問、ご意見等ございますか。

花村委員、どうぞ。

花村委員 1つ教えてください。調査内容に医療機関を受診させなかった理由があります。現在、小中学校は医療費全額負担ですが、この調査は継続して実施していくのでしょうか。

こども福祉課長 どうしても比較が必要になってきますので、継続して各年なり2、3年置きでも同一内容の調査はしていきたいと考えております。

花村委員 最近の親の状況を見ていると、時間的な余裕がある人はかなり困った家庭でも受診されるケースが多いです。最近そんな感じを受けます。

それから、医療保険非加入とはどういうことでしょうか。

こども福祉課長 要するに、生活保護を受けていないし、国保も非加入ということです。

松本市では回答ゼロです。ただ、全県においては、困窮家庭において1.7%あります。

花村委員       そうですね。国保と社会保険を移行されて職業を転々と変わられる方が多い  
ため、手続きに時間がかかり、その間に病気になってしまい医療保険がないと  
いう状況になってしまいます。

                  少し可哀想な数字だと思って見ておりました。

こども福祉課長   松本市ではそういった状況を聞いたことがないので、詳しく分からずすみ  
ません。ただ、全県で見るとこのように回答しておりますので、何らかの理由  
で保険証を持っていないか、もしくは保険証を使えない状況にあるのかという  
ことかと思えます。

花村委員       わかりました。

教育長           他にご質問等ありますか。

                  はい。山田委員どうぞ。

山田委員       このアンケートは、無作為抽出したということですが、外国籍の保護者の方  
からの回答は含まれているのでしょうか。

こども福祉課長   住民基本台帳から無作為抽出しておりますので、外国籍の方も登録されて  
いれば当然入っております。

山田委員       分かりました。

                  それともう一つ教えてください。今後の予定に「有効な支援施策の充実を図  
ります」とありますが、この結果から見て一番の課題と思われることは何  
でしょうか。

こども福祉課長   課題は、親の収入等もございしますが、「子どもの居場所づくり」です。

                  現在、去年よりも少し増えて5団体7会場となっております。最終的には中  
学校区に1会場、もっと言えば小学校区に1会場出来ればよいと思って考えて  
おります。子どもの居場所づくりに興味があってもなかなかやれない方もいら  
っしゃるとお聞きしますので、実際にやっている方々から声を聞くような機会  
等を増やし、今後の拡大を目指していきたいなと思っております。

                  合わせて、子どもたちに「自分が自分でいい」という自己肯定という部分が  
最近低い傾向が見られますので、地区内の大人との触れ合いの中で高めていっ  
てもらいたいと思っています。

山田委員       ありがとうございました。

教育長           他にありませんでしょうか。

花村委員 医療関係ばかりの質問ですみませんが、医療機関を受診させなかった理由に「多忙で連れていけなかった」があります。これは、「親が忙しくて子どもを病院に連れて行かない」ということですよ。

こども福祉課長 そうですね。周辺家庭、困窮家庭が多忙という部分が増えれば保護者の方が忙しく働いているため、それに見合った収入が得られていない、あるいは就労形態もあるのかなと思われるところです。ただ、多忙が仕事の多忙とプライベート的なものもあると思いますので、単純にこの部分の多忙を仕事が忙しいという形で見ると少し危ない部分があると思っております。

花村委員 私は、単純に親が連れて行かないと考えたのですが、医療サイドから見ると松本市は24時間365日いつでも行けます。医療サイドから見ると多忙だから行けないというのは口惜しいです。

こども福祉課長 資料の2に「医療機関を受診させなかった理由」がありますが、こちらを見ると全県的にも理由が「多忙で連れて行けなかった。」次いで「子どもの様子で不要と判断」となっています。しかし、周辺家庭や一般家庭を見ると、割合が逆転しています。松本市の結果を見ても同じです。

花村委員 夜間もやっておりますので、この結果を見るとちょっと悲しくなりました。

教育長 他にご質問等ありますか。

はい、福島委員。

福島委員 先ほどの山田委員の質問に関連しますが、今回の調査結果を踏まえて次の施策を考えるということですが、タイムスケジュールと申しますか、どのぐらいのスピード感をもってされる予定なんでしょうか。それから、喫緊の課題が子どもの居場所づくりだとおっしゃいましたが、貧困家庭のお子さんが抱える問題は、食事、健康状態、学習状況等多岐にわたっていると思います。その中で居場所を一番中心的に捉えている理由は何でしょうか。それから、松本市のアンケートに「学校に行きたくないと思ったことがある」という質問があり、一般家庭の14.9%という結果がありますが、学校指導課と共有することはお考えなんでしょうか。

こども福祉課長 先ほどの「子どもの居場所づくり」は、こども福祉課が中心に進めている部分になりますが、今後の予定記載されている「子どもの未来応援庁内推進会議」は部局横断で集まっている会議ですので、この会議で情報共有を図ってお

ります。

教育長 例えば、「学校に行きたくないと思ったことがある」という質問、松本市が一般家庭で「よくあった」が14.9%となっています。私は、これは普通だと思いました。「学校へ行きたくないと思ったことがある」なんて、みんなそういう思いがあったと思います。「今日はテストだから嫌だな」等、皆さんもそういったことがあったのではないのでしょうか。何かそんなに縛られる必要はないと私は思います。逆に言えば、これが子どもの自然な思いかと思います。この結果を全てまともに受けてしまうと逆にとんでもない結果になってしまうと思うのです。子どもは多様な面があって、いろんな面があるということを常に前提に置いておかないと、この回答だけで物事を進めてしまうのはどうでしょうか。

あくまでも参考資料の1つという形で考えていくのが私は適当ではないかなと思います。

山田委員 そうやって考えると、この質問が良かったのかなと思ってしまいます。

教育長 そもそも論になっていくわけですけど。

山田委員 やはり、私も教育長おっしゃるとおり「学校に行きたくないと思ったことがある」の回答については、この数値だけの判断はちょっと怖いなと思いました。

教育長 いろんなことがこのアンケートから見えてきそうだとすることは確かです。アンケート結果をどのように捉えて、どうしていくかということが、まさに問われることなので、やはり多面的な見方をしていくことがすごく大事だと思います。

教育長 それでは、よろしいでしょうか。

花村委員 1つだけお願いしたいことがあります。「インフルエンザの予防接種を受けなかった理由」という質問ですが、他の質問に比べパーセンテージが高くなっています。それは、おそらく費用がかかるためです。今、65歳以上の高齢の方は補助が出るため自己負担額が決まっています。どうして子どもは補助が出ないのでしょうか。もう少し、子どもの接種率が高くなればと思います。一時期、インフルエンザの予防接種は効かないと言われておりましたが、今はそんなことは絶対にございませぬ。

こども福祉課長 今回の予防接種関係ですが、市役所の中では健康づくり課が担当になりますので、担当課に伝えます。

教育長 それでは、よろしいでしょうか。

では、報告第3号については、報告を受けたこととします。

それでは、あと周知事項5件でありますけれども、補足がありましたら後ほどよろしくをお願いします。

<周知事項1> 教育文化センタープラネタリウムのリニューアル工事に伴う休館について

<周知事項2> 宇宙関連事業 講演会開催について

<周知事項3> 松本市立博物館分館の企画展開催について

<周知事項4> 歴史の里ナイトミュージアムの開催について

<周知事項5> 第35回松本市青少年健全育成市民大会「松本子どもの権利の日」市民フォーラムの開催について

教育長 周知事項について何か補足等ございますか。

よろしいでしょうか。

それでは、予定されていた案件については終了しました。

その他案件に関連して何かございますか。

よろしいですか。

それでは、事務局のからお願いします。

事務局 11月15日、15時から教育委員研究会でございます。22日は15時から定例教育委員会になります。それから、27日は15時から第2回総合教育会議を市役所第一応接室で行います。28、29日は教育委員の視察研修で新潟県上越市、それから十日町市の視察となりますのでよろしくお願いいたします。以上です。

教育長 それでは、以上で第7回定例教育委員会を終了いたします。

《閉会宣言》

赤羽教育長は、平成30年度第7回松本市教育委員会を閉じる旨宣言した。

＜午後4時40分閉会＞

会議録調製職員

教育政策課教育政策担当係長

堀 敬子

会 議 録 署 名 委 員

山田 幸江

市川 莊一